

# 令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: ICT教育推進課  
 担当名: 企画・総合調整担当  
 内線: 6640

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
N34	障害のある子供たちの超スマート社会を生き抜く力を育むICT環境整備事業		一般会計	教育費	特別支援学校	特別支援教育振興費	ゆとりある障害児教育推進事業費	
事業期間	令和2年度～	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 学校教育法、学校教育の情報化の推進に関する法律第二十一		針路	05 未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	4
					分野施策	0504 質の高い学校教育の推進	SDGsターゲット	4-1, 4-a
1 事業概要			5 事業説明					
障害から生じる課題や困難さを改善・克服し、誰一人取り残すことのない個別最適化された学びを実現するため、全ての県立特別支援学校における障害特性に応じたICT環境の整備などを行う。			(1) 事業内容 ア 障害の特性に応じたICT環境の整備 170,020千円 → 159,524千円 イ 授業目的公衆送信補償金の納付 1,385千円 → 1,260千円					
ア 障害の特性に応じたICT環境の整備			ア 障害の特性に応じたICT環境の整備					
イ 授業目的公衆送信補償金の納付			イ 授業目的公衆送信補償金の納付					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)			(2) 事業計画 ア 障害の特性に応じたICT環境の整備 (ア) 学習用タブレット端末やアプリ等を整備する。 (イ) 学校間ネットワークやアクセスポイント等を管理運営する。 イ 授業目的公衆送信補償金の納付					
3 地方財政措置の状況 地方交付税(単位費用) (款)特別支援学校費(細目)学級経費 (細目)学級経費 (積算内容)教育情報化関連経費			(3) 事業効果 全県立特別支援学校へICT環境を整備することにより、学校間の格差を無くし、誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを実現できるようになる。					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円			(4) 補正予算の概要 ア 使用料及び賃借料が当初の見込みを下回ったこと等による減額 イ 授業目的公衆送信補償金が当初の見込みを下回ったことによる減額					
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	△10,621						△10,621	160,784
現計額	171,405						171,405	

## 事業内訳書

事業名	障害のある子供たちの超スマート社会を生き抜く力を育むICT環境整備事業		
単位事業名	障害の特性に応じたICT環境の整備	予算額	△ 10,496千円

### ○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△10,496	—	
合計	△10,496	—	

### ○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△114	—	機器修繕料の減
役務費	△240	—	通信料の減
使用料及び賃借料	△10,142	—	タブレット端末リース料の減
合計	△10,496	—	

単位事業名	授業目的公衆送信補償金の納付	予算額	△ 125千円
-------	----------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△125	—	
合計	△125	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△125	—	授業目的公衆送信補償金の減
合計	△125	—	